

オタゴ・ポリテクニク短期留学をする高専生へ 留学サポートプログラムを開催しました

2024年3月にオタゴ・ポリテクニクへの短期留学を予定している高専生14名に対して、留学経験の豊富な外大生4名から、留学に際しての心構えや気を付ける点、また現地の人たちと交流するコツなどをアドバイスする留学サポートプログラムを開催しました。



外大生は、高専生に写真や動画を見せながら、自身の留学体験を基に丁寧に説明してくれました。日本では「察する文化」が常識となっていますが、海外では言いにくいことも主張することの大切さを伝えていました。その他にも、食文化や生活様式の違いなど多岐にわたって、留学に役に立つ話を紹介しました。

そして、4人全員が伝えていたのは、**留学生活を日記と写真で必ず記録に残すこと！**です。帰国後、どうしても忘れてしまいがちな留学の日々を記録に残すことで、留学経験で得たこと、感じたことをずっと忘れないでいられる、というアドバイスがとても印象的でした。



その後の質問タイムでは、高専生から「Wi-Fiはどうしていましたか?」「現金は使いましたか?」「服装はどのくらい持っていくべきですか?」など、留学を目の前にして、たくさんの質問があがりました。その問いに外大生たちは、一つ一つわかりやすく答えていき、45分間という短い時間でしたが、驚きあり、笑いありの楽しい時間となりました。

最後に、「留学が出来ることはすごいこと。今しかできないことをたくさん経験してきてく

ださい。そして、現地での交流を楽しんでください！」と外大生から高専生へエールを送りイベントは終了しました。

イベント終了後、「留学について質問ができ、自分の気になっていることが聞けて不安を取り除くことができた」、「どのような気持ちで留学に臨めばよいか、とても参考になった」、「留学を充実させるために、事前にしておいた方が良かったことが知れた」など、多くの高専生から良かったとの声が寄せられ、とても有意義な会となったことがうかがえました。